



吉川小だより 6月号



京都府亀岡市立吉川小学校

令和5年5月31日発行

〒621-0014 亀岡市吉川町穴川平田17番地 TEL 0771-22-1210

E-Mail el-yoshikawa@edu.city.kameoka.kyoto.jp



「宿泊学習で一回り大きく」

吉川小のシンボルツリー「くすのき」が美しい黄みどり色に輝いています。また、校内の至る所に次々と咲き誇るきれいな花は心を和やかに、そして幸せな気持ちにさせてくれます。吉川小を愛して下さった多くの方が長い年月をかけて育ててこられたことを思うと感謝の思いが溢れてきます。引き続き吉川っ子一人一人の美しいものを美しいと感じる心を育てていきたいと思えます。



さて、6年生は奈良・伊勢方面に修学旅行に行ってきました。楽しみでしかたないという気持ちを何日も前から表していた4人です。2日目はあいにくの雨でしたが、持っていったメッセージ入り“大てるてる坊主”を子どもたちがなでていると、突然雨がやむという奇跡が起こる場面もあり、



伊勢での夜のお買い物

一生の思い出に残る充実した2日間を過ごしました。また、他の学年の子どもも鞆に付ける飾りやお守りをプレゼントするなど、4人の修学旅行を全校でお祝いするかのようによさしい素敵な雰囲気にも包まれていました。明後日からはいよいよ4・5年生の野外学習です。



「地域とともにある学校」

6日火曜日には、恒例の田植え体験を予定しています。地域の皆さんにお世話になり学校の南側の田んぼに5年生がいらしてもらいます。日本では縄文時代後期から約2400年も続いてきた米作りです。道具や方法、品種は驚くほど改良されましたが、田の土と水を直接感じ、心を込めて育てられることは今も昔も同じです。それでも米の穫れ高が生活や命に関わることがあり、家族や村全体で仕事を進めてこられ



昨年の様子

た時代もありました。そして干害や台風など様々な困難を乗り越えこれまで途切れることなく営まれてきた大切な作業に子どもたちが携われることは本当に素晴らしいことです。亀岡ではどこでも見られる田園風景ですが数校がなんとか取り組んでいるくらいです。本校では自治会・営農組合の皆様を中心に地域の方々のご協力によりこうした活動が実現されています。

特に今年からは、学校運営協議会いわゆる「コミュニティスクール」を立ち上げ、子どもを地域と学校が一緒になって育てる組織をますます充実させていきます。

地域の皆様の方で、子どもたちは教科書



松田さん宅で野菜の栽培を教わる2年生

では学べない大切なことをたくさん教わることができています。「今後もこんなことができますよ。」と声をかけていただけると大変ありがたいです。どうぞ、よろしくお願いいたします。

校長 藤田 哲也